

さる10月24日、岡山市のホテルで東京から橋本徹・日本政策投資銀行社長、京都からは伊藤謙介・京セラ相談役、地元からも岡山県商工会議所連合会の岡崎彬会長たちが集まって、山田方谷をNHK大河ドラマにする100万人署名活動の記者会見が行われた。大河ドラマで、岡山県を舞台にしたものはまだない。



透野島 緑地帯

方谷は崩壊寸前の備中松山藩(現在の高梁市一帯)において7年間で財政再建を成し、幕末の志士たちと交友し、江戸幕府の政治顧問などを務めた。私は祖父が野島家

山田方谷の夢実現①

3289畝の山林を所有し、製鉄業を経営していた。方谷を現代に生かすために、「山田方谷を広める会」が北海道から沖縄まで設立する。東京の会では大橋洋治・全日空会長が共同代表、徳川慶喜のひ孫の徳川斉正氏(水戸徳川家15代当主)が顧問を務めている。方谷をドラマ化する動きは昨秋以降から始まった。拙著

「小説 山田方谷の夢」も契機だったかもしれない。だが一番大きいのは閉塞感打破を願う時代の要請だろう。方谷は教育者でもあり夢(大志)の大切さを教えた。同時代人の関わりでは長岡藩の河井継之助、長州藩の久坂玄瑞たちがいる。この動きを通して日本人が夢を持ち、輝きを取り戻すことを切望している。(のじま・とおる 財務省大臣官房会計課長II東京在住)